



関西学院大学 国際教育・協力センター クロス・カルチュラル・カレッジ事務局
Kwansei Gakuin University
Center for International Education and Cooperation (CIEC)
Office of the Cross-Cultural College

〒662-8501 兵庫県西宮市上ヶ原一番町1-155
ccc-office@kwansei.ac.jp
TEL.0798-54-6046 URL.<https://ciec.kwansei.ac.jp/>

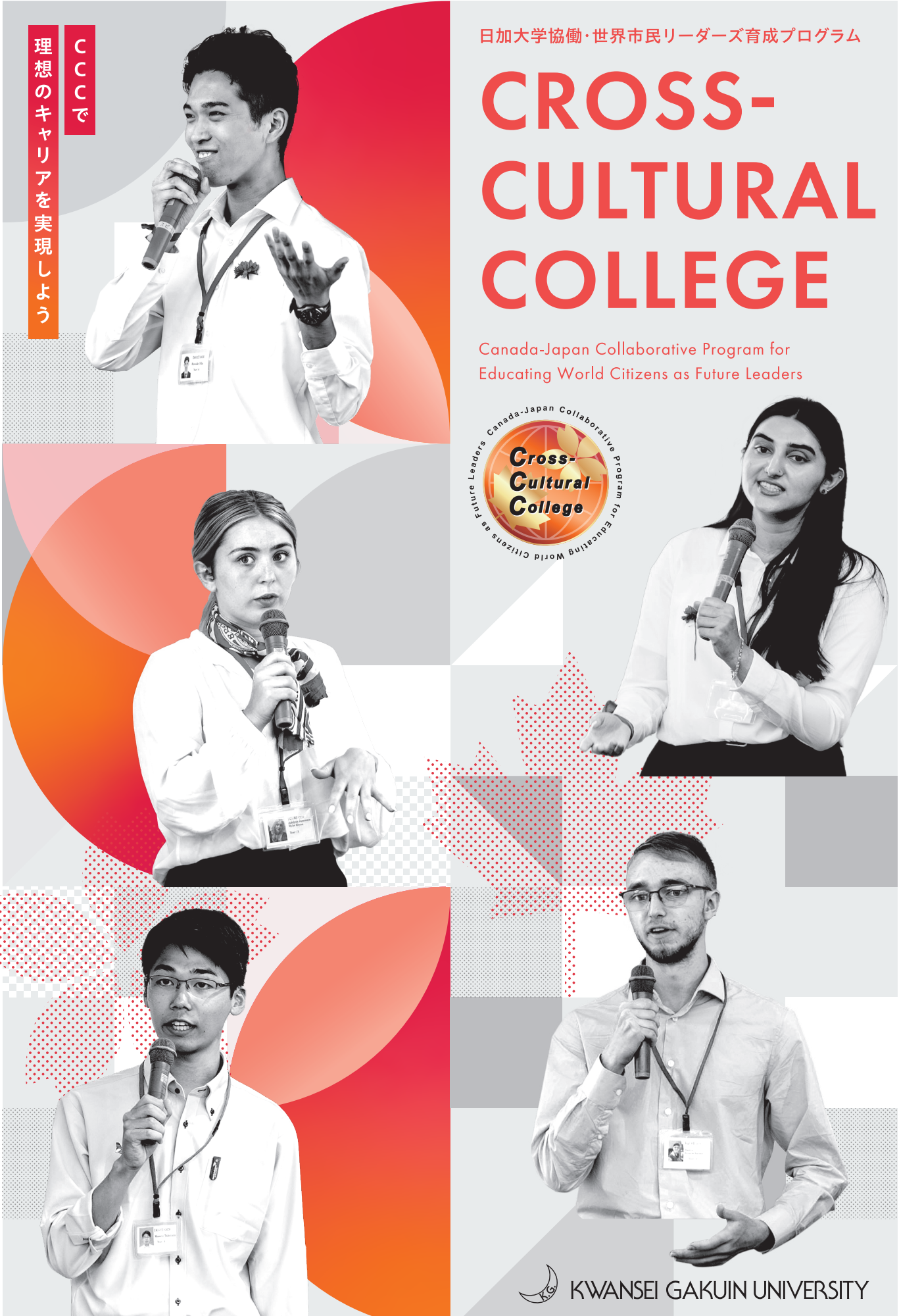
CCCで
理想のキャリアを実現しよう

日加大学協働・世界市民リーダーズ育成プログラム

CROSS-CULTURAL COLLEGE

Canada-Japan Collaborative Program for
Educating World Citizens as Future Leaders





KWANSEI GAKUIN UNIVERSITY

BE A LEADER OF WORLD CITIZENS

クロス・カルチュラル・カレッジとは

日加大学協働・世界市民リーダーズ育成プログラム

Cross-Cultural College

| 特 徴 |

カナダの学生と「協働」で学ぶ

多国籍な場面で活躍できる実践的な能力を養う

英語オンリーで学べる関学を代表するトップクラスのプログラム

Cross-Cultural College (CCC)とは、関西学院大学とカナダの4大学(下記参照)が協働で運営するバーチャル・カレッジです。異文化理解やコミュニケーション力を持ち、多文化を共生させながら、グローバル社会の持続的な発展と成長に寄与できる世界市民リーダーズを育成します。

カナダの参加大学



ウエスタン/キングズ大学
King's University College
at Western University

きめ細やかな少人数教育により、カナダ国内や海外から評価されている小規模リベラルアーツ大学。



マウント・アリソン大学
Mount Allison University

リベラルアーツ大学の中で長年カナダNo.1に選ばれている。



クイーンズ大学
Queen's University

ダイバーシティー豊かな質の高い教育・研究で、カナダ国内はもちろん世界的にも高く評価されている。



トロント大学
University of Toronto

教育・研究業績で世界的に高い評価を受けている大規模総合大学。

CCCがめざす世界市民リーダー像

1 多文化共生や社会の持続的発展への貢献に必要な基礎知識を持ち、現在グローバル社会が直面している課題を幅広く理解している。

2 カナダと日本に共通する課題について、文化的・社会的背景を含めて多角的な視点で把握し、その解決に向けた具体的な方策を提起することができる。

3 異文化コミュニケーション能力(実践的な英語運用能力を含む)を有し、他国の人たちの考えを理解し、かつ自分の考えも的確に表現できる。

4 異なる文化や社会に関心を持ち、異なる背景を持つ人々の価値観を理解・尊重しながらチームで協働できる能力を身につけている。

5 実際に他国の人々と共通の目標のもとで協働する体験を通じて、グローバル社会において活動する自信と意欲を持っている。

2つの学外アワードを受賞している関学唯一のプログラム！

Global Internship in Japan

第7回学生が選ぶキャリアデザインプログラムアワード
「文部科学大臣賞」受賞！

CERTIFICATE PROGRAM

第2回オープンバッジ大賞
「優秀賞」(教育機関部門)を受賞！

WHY CANADA?

- 1 100年以上続く関学とカナダの歴史。
カナダの大学との強固なパートナーシップを持つ関学だからこそ実現できるユニークなプログラム！
- 2 関学のスクールモットー“Mastery for Service”を提唱したC.J.L.ベーツ第4代院長もカナダ・メソジスト教会からの宣教師。
- 3 代表的な多文化社会カナダの学生との協働学習は、多国籍な環境を体感するのに最適！

MESSAGE

Practical experience will nurture
the ability to act globally.

グローバル社会の持続的な発展・成長を実現できるのは、どのような人なのでしょう？ 関西学院大学では海外進出に積極的な企業約70社を対象に調査を行い、英語などの外国語の運用能力はもちろんのこと、優れた問題発見能力と解決能力のある人、そして文化の壁を乗り越え、多国籍な場所で一緒に行動できる人という結論に達しました。そこでCCCでは、日本とカナダの学生と一緒に課題を発見し、解決策を立案・実行する実践的な科目を中核に設置しています。また、インターンシップをはじめとして産業界と連携した科目も多く開講し、将来国際的な場で活躍する際に必須となる能力を養うプログラムを提供します。本学の学生とカナダの学生が交流する素晴らしい機会でもありますので、ぜひ多くの学生に挑戦してほしいと考えています。



矢頭 典枝 教授

Norie Yazu

CCCカレッジ長
CCCチーフアカデミックディレクター
関西学院大学 国際教育・協力センター教授
日本カナダ学会会長



CONTENTS

- ▶ 01-02 **BE A LEADER OF WORLD CITIZENS**
クロス・カルチュラル・カレッジとは
- ▶ 03-04 **CERTIFICATE PROGRAM**
- ▶ 05-06 **MOBILITY PROGRAMS**
CCC Global Career Seminar in Japan / Canada
CCC Global Internship in Japan
CCC Field Study in Canadian Business
- ▶ 07 **CCC FOR YOUR FUTURE CAREER**
CCCとキャリア
- ▶ 08 **COMMENTS FROM PARTICIPATING STUDENTS**
参加学生からのコメント
- ▶ 09-10 **CERTIFICATE PROGRAM**
対象科目一覧

CERTIFICATE PROGRAM

CCCでは、日本とカナダの学生が共に学ぶ「Certificate Program (CP)」を提供しています

Certificate Program (CP)とは、関学生とカナダの4大学の学生を対象に提供する「修了証プログラム」で、両国の学生が協力して、企業等から与えられるビジネス課題に対し解決策を立案する実践的な科目を中心に学びます。使用言語は全て英語で、所定の16単位とTOEIC®820点相当以上の英語能力を修得した学生に、日加5大学が運営するCCCから修了証ならびにオープンバッジを授与します。

CCC参加学生の声や
プログラムの様子はこちら！

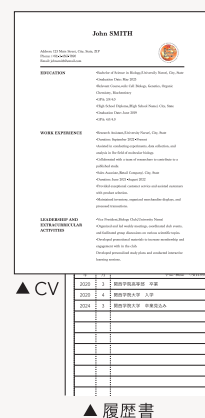


このような学生にオススメです！

- ✓ グローバル社会で活かせる実践力を身につけたい
- ✓ これまでに身につけてきた英語力を維持、向上させたい
- ✓ 英語を学ぶのではなく、「英語で学ぶ」環境に身を置きたい
- ✓ 早期に修了証書を手に入れて、就職活動でアピールしたい

オープンバッジとは？

- 取得した資格や学習内容を目に見える形にできる、知識・スキル・経験のデジタル証明。
- 他の学生と、一味違った方法で履歴書やメール署名などで、国際的に活躍できるグローバル人材であることを証明できる！
- SNSでちょっとしたアピールにも活用できる！いいね！をもらうきっかけに。



▲履歴書



活用例



▲E-mail



■ 主なスケジュール | 夏休みおよび春休みのプログラムは以下の通り実施されます。計画的に参加しよう！

4月 APRIL	●募集説明会 ●8月プログラム出願・選考	10月 OCTOBER	●募集説明会 ●2月プログラム出願・選考・参加者決定
5月 MAY	●参加者決定	11月 NOVEMBER	
6月 JUNE	●8月プログラム事前講義(オンライン) ※回数・日程は説明会で案内	12月 DECEMBER	●2月プログラム事前講義(オンライン) ※回数・日程は説明会で案内
7月 JULY		1月 JANUARY	
8月 AUGUST	Global Career Seminar in Japan Global Internship in Japan	2月 FEBRUARY	Field Study in Canadian Business Global Career Seminar in Canada
9月 SEPTEMBER		3月 MARCH	

※募集説明会および出願等の詳細については「国際教育・協力プログラム募集要項」を参照してください。



CERTIFICATE PROGRAM [CP]

修了できなくても、ペナルティなし！
気軽にご登録ください

CP登録要件

TOEIC®680点(または、TOEFL ITP®530点、TOEFL iBT®71点、IELTS(アカデミック) 5.5点、英検準1級)以上の英語能力を有している学部生
※要件を満たしていればいつでも登録可。
※学部1年生から登録できます。

オススメ! Pick up 科目

CCC Introduction to Multicultural Studies

通常学期および秋学期集中で開講

オススメ! Pick up プログラム | P.6

CCC Field Study in Canadian Business

関学生同士のペアで行う10日間のインターンシッププログラム

CP必要単位(計16単位)の内訳

選択必修科目

選択必修①

英語で多文化共生論を学ぶ科目

2単位

選択必修③

▶ P.5~6
カナダ側学生と協働して学ぶ科目(コア科目)

選択必修②

英語で国際関係論を学ぶ科目

2単位

3単位

選択科目

選択①

英語でCCCの理念に合致する内容を学ぶ科目

9単位

CP登録・修了の手続きは
こちらから



修了証プログラムを通してビジネスの場で役立つ
実践的な能力を身につけよう！

- 多文化の環境でのコミュニケーション能力
- 異なる文化背景を持つ人の価値観を理解する能力
- 効率的な問題分析・解決能力

CP修了要件

- ① 定められた科目群の中からあわせて16単位を修得
- ② TOEIC®820点(またはTOEFL ITP®580点、TOEFL iBT®92点、IELTS(アカデミック) 6.5点、英検1級)以上の英語能力を修得

オススメ! Pick up 科目

CCC Introduction to International Relations

通常学期および秋学期集中で開講

CP修了のコツ

- 英語中期留学トロント大学参加者は、留学先で履修できる「カナダ研究」を選択必修1に算入できます。
- 交換留学先で修得した単位をCP対象科目として認定できる場合があります。
- 春・秋学期の集中講義も用意しているため、効率的に履修を進めることができます。

MOBILITY PROGRAMS

Mobility Programsとは、日加学生もしくは関学生同士がペアやグループとなり、
企業等から与えられる課題の解決に向けて協働で取り組むプログラムです。
いずれも**Certificate Program**の対象科目です。

出願資格

※下記条件をすべて満たす者

学部2年生以上(大学院生を除く)

TOEIC®680点(またはTOEFL ITP®530点、TOEFL iBT®71点、IELTS〈アカデミック〉5.5点、英検準1級)以上のスコアを有する者

事前講義を含むプログラム全日程に参加できる者
※事前講義は学期期間中に複数回実施します。



CCC Global Career Seminar in Japan / Canada

日加の学生がグループで行う企画立案型セミナー

日加の学生混成のグループを組み、企業・団体等から提示された国際展開等に関する課題について、その解決策を立案するプログラム。プログラム開始前には、オンライン講義を通じて日加のビジネスに対する理解を深め、カナダ側学生とのディスカッションに備えます。プログラム前半では、企業・団体等の事業に精通し、第一線で活躍している方々に会い、直接情報収集を行います。その後、グループ内で解決案を導き出し、最終的に企業・団体等の担当者に対してプレゼンテーションを行い講評を得ます。普段なかなか会うことのできない企業・団体等の方々の考えに触れることにより、ビジネスならではの視点を学びつつ、多国籍な場での合意形成を体感します。日本で開講するプログラムでは、カナダ側学生に日本文化を伝えるアクティビティ等も行います。

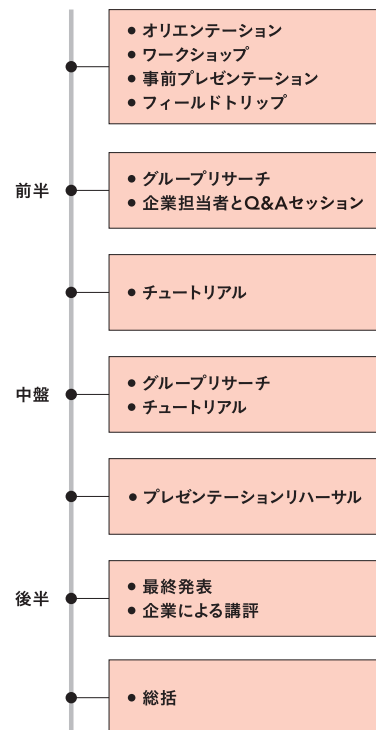
※関西学院大学に在籍する外国人留学生とグループを組むこともあります。

実施期間	
〔日本実施〕	8月上旬(約1週間)
〔カナダ実施〕	2月中旬(約1週間)
実施場所	
〔夏季〕	西宮上ヶ原キャンパス
〔春季〕	カナダ・トロント大学
単位	
グローバルスタディーズ科目 「CCC Global Career Seminar in Japan」(3単位) 「CCC Global Career Seminar in Canada」(3単位)	CP対象 選択必修 3
協力企業・団体(過去実績)	
〔日本〕 カナダ大使館、リコー、シュナイダーエレクトリックホールディングス、 The Canadian Chamber of Commerce in Japan、ガルーダインドネシア航空 他 〔カナダ〕 Ernst & Young、TOYOTA Canada、Kubota Canada、Air Canada 他	
CCC Global Career Seminar in Japan / Canadaの様子はこちら	



■ プログラムスケジュール

※変更の可能性あります



CCC Global Internship in Japan

日加の学生がペアで行う課題解決型インターンシップ

日加の学生がペアを組み、互いが助け合いながら海外展開に積極的な企業・団体等で10営業日間の課題解決型のインターンシップ(就業体験)を行うプログラムです。異なるバックグラウンドを持つ者同士がペアになることで、それぞれの独自性を尊重しながら一つの目的に向けて協働することを体感できます。事前講義ではインターンシップに必要なビジネスに関する基礎知識を学び、事後講義ではプレゼンテーションを通じて各インターンシップ先での学びを学生全体で共有し、更なる気づきや学びを醸成します。

※関西学院大学に在籍する外国人留学生とグループを組むこともあります。

実施期間	
8月下旬(2週間)	
実施場所	
西宮上ヶ原キャンパス及び各インターンシップ先	
単位	
グローバルスタディーズ科目「CCC Global Internship in Japan」(3単位)	CP対象 選択必修 3
協力企業・団体(過去実績)	
JTB、全日本空輸、三恵メリヤス、類設計室、EnglishCentral、TOA 他	
CCC Global Internship in Japan参加学生と協力企業の声はこちら	



関西初 CCCのGIJが第7回「学生が選ぶキャリアデザインプログラムアワード」で文部科学大臣賞を受賞！

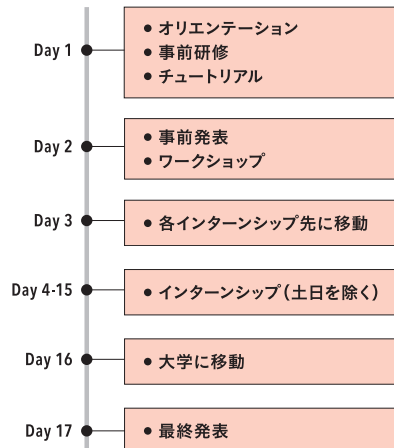
学生が選ぶキャリアデザインプログラムアワード…学生の社会的・職業的自立に貢献したインターンシップやキャリア形成支援に係る取組を表彰する日本最大級のアワードです。



CCC Global Internship in Japanは、産業界(企業)と国公私立大学との間で合意された要件(一部を除く)を満たす、質の高いインターンシッププログラムです。詳しくはシラバスの備考欄を参照してください。

■ プログラムスケジュール

※変更の可能性あります



CCC Field Study in Canadian Business

関学生同士のペアで行う、10日間の課題解決型インターンシップ

関西学院大学の学生でペアを組み、カナダ・トロントにある国際展開に積極的な企業・団体に10営業日間の課題解決型のインターンシップを行うプログラム。日本国内のインターンシップでは体験できない、多文化社会であるカナダ特有のビジネス環境における実践的な課題分析・解決を通じて、カナダでのビジネスマネジメントや文化に対する理解、コミュニケーションスキルを修得することができます。プログラム期間中はホームステイでの滞在となります。このプログラムは、Certificate Program(CP)の選択1に該当します。

実施期間	
2月上旬(2週間)	
実施場所	
〔カナダ〕 トロント近郊のインターンシップ先及びトロント大学	
単位	
グローバルスタディーズ科目「CCC Field Study in Canadian Business」(3単位)	CP対象 選択 1
協力企業・団体(過去実績)	
Nikkei Voice、国際交流基金、トロント日本商工会、Student Homestay Services、Ricoh Canada 他	
CCC Field Study in Canadian Business参加学生と協力企業の声はこちら	

■ プログラムスケジュール

※変更の可能性あります



各プログラムの最新情報は、国際教育・協力センター(CIEC)ウェブサイトにてご確認ください。



CCC FOR YOUR FUTURE CAREER

CCCとキャリア

CCCでは、カナダの学生と協働で取り組むプログラムを提供しています。また、個々のプログラムへの参加だけでなく、4年間を通してCertificate Program (CP)に取り組むことで、英語力はもちろん、国際的な場における実践力を養うことができます。これまで、CCCに参加した多くの先輩達が在学中のCCCの経験を活かし、グローバルに活躍できる就職や進学を実現しました。皆さんもぜひCCCに挑戦し、大学での4年間の学びを充実させてください。

■ 4年生からのコメント

Q CCCでの経験は
どのように自身の強みになりましたか？

Global Career Seminarに参加して、自分がグループの中でどういう立ち位置の人間かがよくわかり、それは就職活動時の自己分析に役立ちました。

Q 就職活動で企業の方が注目してくれた
活動はありましたか？

チームの意見を聞き入れ組織構築に活かす力や海外の人とのコミュニケーション能力等を具体的なエピソードを交えて話すことができ、高く評価してもらえました。

Q CCCでの経験が
どのように就活・内定につながりましたか？

CCCの経験は、自分のリーダー経験と、自分の志向性を示す根拠の一つとして、面接で活かすことができました。Global Career Seminar in Japanで外国人学生チームのメンバーを牽引した経験は、グローバルな環境でのリーダーシップを示す貴重な経験となりました。また、外国人学生との協働経験は「海外で働きたい」と考える私の志向性を補完する根拠ともなり、面接でも一貫性を持たせられ、アピールに繋がりました。

CPを修了した先輩の就職先一例

- 日本IBM
- LION
- P&Gジャパン
- TOTO
- ユニ・チャーム
- 日本航空
- パナソニックホールディングス
- 神戸市役所
- 日本貿易振興機構(ジェトロ)
- アクセンチュア
- 全日本空輸
- 楽天グループ
- KDDI
- 三井住友信託銀行
- 中部国際空港



Global Career Seminarで企業担当者から情報収集



Global Career Seminarプレゼンテーション終了後



Certificate Program修了証書授与

COMMENTS FROM PARTICIPATING STUDENTS

参加学生からのコメント

CCC Global Career Seminar in Japan / CCC Global Internship in Japan



岡田 凛 | 国際学部
(参加時期:3年夏休み)

以前に英語中期留学に参加しており、自分の英語力を更に向上したいと考え、本プログラムに参加しました。また他に、必要要件(単位や英語スコア)を満たせば取得できるオープンバッジ(修了証プログラム)も魅力的でした。自分が取り組んだことが形となって現れるのは非常に達成感があるものだと考えたからです。CCCプログラムは英語留学と違い、英語は手段にすぎません。ですので、言語の壁を感じる場面は多々ありました。しかし、事前に「英語に自信がないんだ」など伝えておく相手も理解してくれますし、お互い気持ちよくコミュニケーションをとることができます。私は、初めはそこで億劫になっていましたが、相手は私の率直な意見を求めています。「伝える」というその一歩を踏み出す

ことが、大変重要なことだと考えています。実際に参加してみても嬉しかったことは、納得のいく発表ができたことです。異なるバックグラウンドを持つメンバーで、しかも限られた期間内に成果物を作り上げられた、ということが参加して良かったと感じさせてくれます。同時に自身の英語力に対する自信にも繋がりました。また、カナダの学生との仲を深めることが出来たことも嬉しい出来事です。学内外での様々な交流を通して多くの友達を作ることが出来ました。今でも彼らと連絡を取り合っています。

私はこのプログラムを通して、語学力だけではなく、様々な視点から物考える力・異文化理解力など様々な力が身に付いたと思います。これらはこれからの時代に必ず生きる力だと思っています。また、日本に居ながらも留学中の感覚になれるので、有意義な長期休暇に出来ることは間違いなしです。是非参加をしてみてください！



CCC Global Career Seminar in Canada / CCC Field Study in Canadian Business



高原 春奈 | 総合政策学部
(参加時期:3年春休み)

CCCの体験は濃密なものでした。私は英語に自信がありましたが、ビジネスシーンでどこまでアウトプットできるのか、また、友人の作り方を忘れてしまったような気もして、異国の地で新しい人間関係を築けるのかという不安もありました。そのため、参加を決断することは私にとって挑戦でした。しかし、大きな国際都市であるトロントでは、互いの違いを認め合い、街全体が温かい愛に包まれているようでした。どの方も温かく迎えてくださり、トロントの人々は他者を受け入れることが上手であると実感しました。様々なアクセントの英語が飛び交う環境の中で、一つの目標に向かってチームで取り組むプロセスは新鮮な経験でした。休み時間には職場の方々やグループメンバーに美味しい食べ物を教えてもらい、ハラルフードやエスニック料理など、多様な食文化を

楽しむことができました。また、休日にナイアガラの滝へ友人と訪れたことも忘れられません。朝早くに出発し、地下鉄や高速バスを乗り継ぐ移動は不安があった分、大冒険でした。目的地に到着し、壮大な自然を目の当たりにした時は感動しました。トロントで過ごす自分は生き生きしてそれが心地よかったです。将来の自分の姿が見えず、不安に感じていた時期もありましたが、自分は多文化的な環境にいるときに輝いているのだという新たな発見がありました。また、国際人に囲まれ、自分の視野の狭さを痛感するとともに、多くの素晴らしい縁に恵まれました。この挑戦を決断した自分を誇りに思える経験となりました。

楽しむことができました。また、休日にナイアガラ



CERTIFICATE PROGRAM

対象科目一覧

*印は2025年度不開講
(2025年度版)

各科目を履修する際は、必ずシラバスを確認してください。

必要 単位	開講科目(単位)		
	履修基準年度		
	1年	2年	3・4年
選択必修1	国際教育・日本語教育プログラム室開講科目		
	☆CCC Introduction to Multicultural Studies(2)	カナダ研究トロント大学(3) カナダ研究マウント・アリソン大学(3) このほか、本学または交換留学・認定留学先で修得した単位で 国際教育・日本語教育プログラム室長が認めるもの	
	言語教育研究センター開講科目		
	Multicultural Collaboration in English(2)		
	教育学部		
	異文化理解(2)	異文化コミュニケーション(2)(2021年度以降入学生のみ履修可)	
	総合政策学部		
選択必修2		Culture and Thought(2)	多言語多文化論(2) 多文化社会論(2) Multilingualism and Multiculturalism(2) Studies in Multicultural Society(2)
	国際学部		
		Contemporary Multicultural Societies(2) Intercultural Relations(2) Religion and Society in the Contemporary World(2)	
	国際教育・日本語教育プログラム室開講科目		
	☆CCC Introduction to International Relations(2)	国際研究マウント・アリソン大学(3) このほか、本学または交換留学・認定留学先で修得した単位で 国際教育・日本語教育プログラム室長が認めるもの	
	総合政策学部		
		International Trade(2) 国際貿易論(2)	
選択必修3	国際教育・日本語教育プログラム室開講科目		
		☆CCC Global Career Seminar in Canada(3) ☆CCC Global Career Seminar in Japan(3) ☆CCC Global Internship in Japan(3) ☆CCC Global Internship in Canada(3)* ☆CCC Joint Seminar in Canada(3)* ☆CCC Joint Seminar in Japan(3)*	
	言語教育研究センター開講科目		
	Culture and Society(2)		
	国際教育・日本語教育プログラム室開講科目		
	☆Topics in Canadian Studies A(2) ☆Topics in Canadian Studies B(2) ☆Topics in Canadian Studies C(2) ☆Topics in Canadian Studies D(2) ☆総合日本学習科目	☆CCC Field Study in Canadian Business(3) このほか、本学または交換留学・認定留学先で修得した単位で 国際教育・日本語教育プログラム室長が認めるもの	
	経済学部		
選択1		Topics in Economics (in English) A(2) Topics in Economics (in English) B(2) US Economy(2)(国際学部合併科目) 経済学トピックスF(2017)(2)* Japanese and Asian Economies A(2)(国際学部合併科目)* Japanese and Asian Economies B(2)(国際学部合併科目)* Topics in Economics (in English) C(2)* Topics in Economics (in English) D(2)* Topics in Economics (in English) E(2)* Topics in Economics (in English) F(2)* Topics in Economics (in English) G(2)* Topics in Economics (in English) H(2)* Topics in Economics (in English) I(2)* Topics in Economics (in English) J(2)* US Innovation System(2)(国際学部合併科目)*	

*印は2025年度不開講
(2025年度版)

必要 単位	開講科目(単位)		
	履修基準年度		
	1年	2年	3・4年
選択1	総合政策学部		
	コミュニケーション総論(2) Introduction to Communication(2)	異文化間コミュニケーション論(2) エコロジー政策(2) 比較文化論(2) Comparative Culture(2) Ecological Policy(2) Intercultural Communication(2)	地域開発論(2) 地球環境政策(2) 比較社会論(2) 非政府組織論(2) Comparative Studies on Societies(2) Global Environmental Policy(2) N.G.O.(2) Regional Development(2) 国際環境政策(2)* International Environmental Policy(2)* 経済地理学(2)(2020年度以前開講分のみ) 社会言語学(2)(2020年度以前開講分のみ) 文化とグローバリゼーション(2)*
	教育学部		
			英語科教育特論(2) (2021年度以降入学生のみ履修可)
	国際学部		
	Christianity A(2) Christianity B(2) Government and Politics in Japan A(2) Government and Politics in Japan B(2) International Relations of East Asia(2) International Security(2) Introduction to Japanese Culture(2) Introduction to Japanese Literature(2) Introductory Japanese Finance(2) Innovation and Intrapreneurship(2) Japanese Art A(2) Japanese Cinema A(2) Japanese Business A(2) Japanese Business B(2) Japanese Economy(2)(国際教育・日本語教育 プログラム室合併科目) Japan-China Relations(2) Japanese Economy and Business(3) Japan's Foreign Relations(2) Japanese Linguistics(2) Japanese Phonetics and Phonology(2) Japanese Politics and Diplomacy(2) Japanese Pop Culture A(2) Japanese Pop Culture B(2) Japanese Psychology A(2) Japanese Psychology B(2) Japanese History A(2) Japanese History B(2) Japanese Legal System(2) Japanese Society(2) Language and Culture in Japan A(2) Language and Culture in Japan B(2) Management A(2) Management B(2) Minorities in Japanese Society(2) Political Economy of Japan(2) Postwar Japanese Diplomatic History(2) Postwar Japanese Political History(2) Prewar Japanese Diplomatic History(2) Prewar Japanese Political History(2) Religious and traditional Rites(2) The Chinese in Modern Japan(2) Traditional Japanese Theatre(2) Business Ethics(2)* Chinese Culture and History(2)* Contemporary Korean Studies(2)* Introduction to ASEAN: Society, Economy and Politics A(2)* Society, Economy and Politics B(2)* Japanese Art B(2)* Japanese Outlaws(2)* Marketing in Japan(2)* Traditional Japanese Arts(2)*	American Society(2) Asia-Pacific Relations(2) Changing Images of Women(2) Chinese Economy(2)(国際教育・日本語教育プログラム室合併科目) Climate Justice(2) Contemporary Chinese Society and Culture(2) Contemporary Japanese Society and Culture(2) Cultures in the USA(2) Economic History of the European Union(2) European Economies(2) Foreign Policy Analysis(2) Human Resource Management in the USA(2) International Finance and Asia-Pacific(2) International Management(2) International Relations of Japan(2) International Trade and Asia-Pacific(2) Introduction to European Economic History(2) Introduction to Political Science(2) Japanese Corporate Governance(2) Japanese Financial Practices(2) Japanese Religion(2) Japan's Emigration Policy and Japanese Immigration(2) Sociology of Cultures in Transition(2) The EU Economy(2) Theories and Debates in the Studies of International Relations(2) US Economy(2)(経済学部合併科目) Asian Innovation System(2)* Canadian Economy(2)* Canadian Foreign Policy(2)* Corporate Governance and Industrial Relations in International Perspective(2)* Environmental Governance in the European Union(2)* European Innovation System(2)* Global Seminar in South Asia A(2)* Global Seminar in South Asia B(2)* Industrial Policy in the EU(2)* International Accounting(2)* International Relations in ASEAN(2)* Introduction to Documentary Film Studies(2)* Japanese and Asian Economies A(2)(経済学部合併科目)* Japanese and Asian Economies B(2)(経済学部合併科目)* Management in Japan(2)* Management in North America(2)* Marketing in the USA(2)* Regional Policy in the EU(2)* The European Union: History, Politics & Economy(2)* The Media Culture in North America(2)* US Foreign Policy(2)* US Innovation System(2)(経済学部合併科目)* US-Japan Relations(2)*	
	選択1		

- 〈1〉履修にあたっては、申込手続きが必要となる科目があるので、事前に各開講科目事務室で確認してください。
- 〈2〉所属学部の開講科目が自身の入学年度教育課程表に記載されていない場合、履修できません。また、各科目履修の条件は、履修心得等の各学部の履修に関する手引き及び科目提供学部の教育課程表を確認してください。
- 〈3〉☆の科目は履修申込時にTOEIC®680点以上(TOEFL-PBT®/ITP® 530点、TOEFL-iBT®71点、IELTS 5.5点、英検準1級)以上の英語能力の証明書が必要です。
- 〈4〉選択必修3は、開催国に関わらず、カナダの4大学(ウエスタン/キングス、マウント・アリソン、クイーンズ、トロント)の学生と「協働」で学ぶ科目群です。科目毎に募集定員が定められています。
※ただし、カナダ4大学の学生以外に本学に在籍している外国人留学生との協働になる場合があります。
- 〈5〉選択必修1、選択必修2および選択必修3で修得した単位のうち、所定の単位数を超えた場合は、選択1の単位数に加えることができます。※ただし、1科目の単位を分割することはできません。
- 〈6〉*マークがついている科目は、2025年度不開講の科目です。開講予定は2025年3月時点の情報です。